



みずしま資料交流館企画展

# 水島の公害と 住民運動の 原点・呼松

—呼松エピソードから60年—

2024.3.20(wed)-3.30(sat)

平日9:00-17:00 土日祝10:30-15:30



# 企画展 趣旨

水島の自然環境が激変したのは、1964年の化成水島（現：三菱ケミカル）の試験操業がターニングポイントといわれている。24時間操業の化学工場が、不夜城のように稼働をスタートしたのだ。工場夜景の始まりでもある。化成水島に隣接する呼松は、1964年の前と後では生活が全く変わってしまう。福田地域の玄関口として、海を大切にしてきた生活から、工場とともに歩むまちに変化していく。そこで、水島での公害反対運動の萌芽も見られた。これを呼松エピソードと呼んでいる。

同様のコンビナートを有する三重県四日市市では、磯津という漁村が呼松と同じような被害を受けている。呼松の街の変化を展示パネルと写真で伝える中で、水島の歴史を考えるきっかけとなれればと願っている。



## みずしま資料交流館 あさがおギャラリー紹介

水島は近代が凝縮した街です。干拓による新田開発と水害、河川改修、軍需産業と開発・空襲、石炭から石油へのエネルギー転換にともなう石油化学コンビナートの進出と公害の発生など、様々な物語が積み重なっています。みずしま資料交流館は、様々な思いを大切にしつつ、対話する場所を作り出していきます。

## 展示解説をします 2024年3月24日（日）11:00-12:00

あわせて、以下の企画にもご参加ください

### 3月24日（日）13:00-15:00 「ジェンダーの視点で考える防災」

ゲスト：はっとりいくよさん（一般社団法人ほっと岡山代表理事、防災士）

水島・呼松の経験は、住民が公害に立ち向かった地域の力（レジリエンス）を示しています。これは今後の防災にも活かせる教訓でしょう。災害への対応力を高めるにはジェンダー視点から対策を考えることが大切です。高齢者や障がい者など要支援者の避難も大きな課題として浮上しています。東日本大震災から13年、能登半島地震も起きました。防災や公害を「自分ごと」とする機会にできればと思います。

あさがおカフェ  
はじめます！

### 3月23日（土）16:00-17:40 水島コンビナートクルーズ

（みずしま滞在型環境学習コンソーシアムのイベント）

## 連絡先

〒712-8033 岡山県倉敷市水島東栄町11-12  
公益財団法人水島地域環境再生財団（みずしま財団）  
TEL086-440-0121 FAX 086-446-4620  
webmaster@mizushima-f.or.jp  
交通 水島臨海鉄道栄駅から徒歩5分  
地球環境基金助成事業



 あさがおギャラリー  
みずしま資料交流館